

<研究名称>

失語症状が変動する大脳皮質基底核変性症疑いの一症例－聴理解と難聴の関係－

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 リハビリテーション  
職 名 技師長  
氏 名 木村 和久

実施担当者 所 属 リハビリテーション  
職 名 言語聴覚療法係長  
氏 名 中澤 肇

<研究期間>

倫理委員会承認後～2 年間

<診療・研究の目的>

高齢者の多くは高音漸傾型の加齢性難聴を呈している場合が多い。元々難聴を呈する方が失語症状を認めた場合、その聴覚的理解力が失語症による低下か、難聴による低下かを判断することは難しい。今回、大脳皮質基底核変性症疑いにより歩行時ふらつきと失語症状を認めた一症例に標準失語症検査と聴力検査（標準純音聴力検査・語音明瞭度検査）を実施し、経時的にその症状変化を追うことで、聴覚的理解力と難聴の関係を調査した。

<実施内容（方法）>

ネオドパゾール投与前後に①標準失語症検査と聴力検査を実施し、結果を比較する。②語音弁別検査の一部を経時的に評価する。③SALA 失語症検査の一部を実施する。①～③の結果を後方視的に分析し、考察した。

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

データ提示により個人が特定されないよう、氏名などの個人情報は一切記載しない。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

リハビリテーション

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648